

当社では、ハザードの発生をいち早く検知し、自治体による速やかな避難誘導や通行止めなどの措置を支援するため、様々な商品ラインナップを用意しています。組み合わせてご利用いただくことで、広範かつ複合的な災害の発生にも対応可能な防災体制を構築することができます。

冠すいっち

通信部と冠水センサ部で構成されたコンパクトでシンプルな冠水検知システムです。冠水センサ部は最大3台接続可能であり、より確実に冠水や越水を検知します。



- <仕様>
- 【標準構成】通信部 1台 冠水センサ部 2台(ケーブル付) ※通信部1台につき冠水センサ部3台まで接続可能
 - 【電源】リチウム電池/パック: 3V
 - 【測定項目】冠水(フロースイッチのON/OFFで検知)
 - 【通信部】パケット通信 LTE-M(CAT.1)
 - 【筐体部】使用温度範囲: 0℃ ~ 60℃
外形寸法: 130×325×50mm(通信部)
: 80×80×50mm(センサ部)
重量: 1.1kg(通信部)、1.1kg(センサ部)

IoTカメラシステム

冠水センサ部と組み合わせることで現場の状況も確認可能な遠隔監視を行うことができます。冠水センサ部が冠水を検知した時に撮影します。夜間でも鮮明な画像を送ることができ、災害時の現場状況の確認がよりスピーディーにでき、速やかで最適な初動対応に貢献します。

- <特徴>
- ・任意のタイミングで現地動画を確認可能
 - ・通信部、電源が一機型のコンパクト設計
 - ・バッテリー+ソーラーでAC電源不要
 - ・高解像度カメラを採用



クリノポール

(表層傾斜計)

地面に挿すだけで、表層地盤の傾斜を検知し、通信機を通じて、リモートモニタリングが可能な製品です。冠すいっちやIoTカメラと併用でお使いいただくことで、複眼的な広域監視も可能になります。



- <仕様>
- 【測定項目】2軸角度(X軸、Y軸)、温度
 - 【分解能】0.001°
 - 【通信方式】LTE-Cat.M1
 - 【電源】専用リチウム電池(3V)で最大5年間稼働(1時間1回測定、1日1回データ送信、月に1度監視モード発生として試算)
 - 【寸法】175×130×47mm(通信部) φ25×1,000mm(貫通部)
 - 【重量】1.5kg
 - 【オプション】土層強度検査棒、T字ポール 25φ ※別売り

冠水センサ ボード

冠水センサを内蔵したボード(車止め)です。任意に設定された水位に達すると管理者へ冠水情報を送信するとともに、ボード上部の非常灯が赤く点滅し、周辺に異常を知らせます。
* 非常灯とは別に、点灯式の通常灯も備えています

- <仕様>
- 【形状】ベース式
 - 太陽光発電照明内蔵(アプローチライト<ソーラーLED通常灯>)
 - 冠水情報検知装置、非常灯点滅装置(LEDフラッシュランプ+防水モジュール+バッテリー)、通信機能を内蔵
 - 【寸法】φ165(t4.0)H850 【重量】約11.5kg
 - 【材質】アルミパイプ+アルミ合金鋳物
 - 【仕上】ショットブラスト+セラミック焼付塗装
 - 【標準色】セラミックチタン
- (本製品は、応用地質株式会社、株式会社サンポール、ユアサ商事株式会社による共同開発製品です。(受注生産となります。))



ハザードマッピングセンサ

冠すいっち

冠水情報をいち早く、確実に察知!

OYO
oyo corporation



OYO
oyo corporation

応用地質株式会社

本社:東京都千代田区神田美土代町7番地
電話(代表)03-5577-4501

本カタログ掲載製品担当部署はこちらです!

計測システム事業部 〒305-0841 茨城県つくば市御幸が丘43
TEL:029-851-5078 FAX:029-851-7290 E-mail:seihin@oyo.jp

各事業部一覧は
こちらから



OYO公式ホーム
ページはこちらから



本カタログの記載内容は、機能の改善及び仕様・価格の変更のため、通知なく変更される可能性があります。

<https://www.oyo.co.jp>

2021年4月制作

災害に強い社会を!

応用地質株式会社

冠水センサと監視カメラの連動により、迅速かつ確実に冠水状況を把握!



ハザードマッピングセンサ

冠すいっち + IoTカメラ

夜間の僅かな光源でも鮮明な画像の撮影が可能



冠すいっち

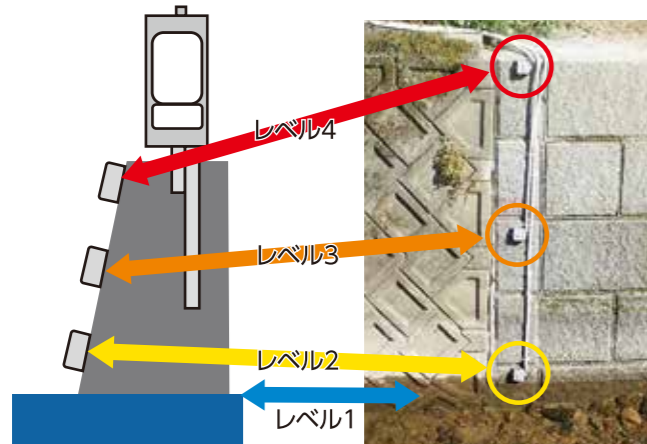
冠すいっちは、冠水(増水・越水)を検知する機器です。通信部(LTE-Mモジュール及び電源)と冠水センサ部から構成され、通信部1台にセンサが最大3台まで接続できます。複数深度でのセンサ接続により、水位の変動を段階的に検知することが可能です。センサ部が冠水(水没)すると、指定メールアドレスに冠水情報を送信します。遠隔地からPCやスマートフォンからでも、冠水状況を把握でき、都市部における通行止め、住民避難といったその後の対応を、より迅速に進めることができます。



冠すいっち (通信部)

冠水センサ部 (最大3台まで接続可能)

冠すいっち設置イメージ センサ部を3台設置した例



優れたコストパフォーマンス

冠すいっちの特長

- ★ ため池、河川(用水路)、堤防、排水路などに最適
- ★ 全国に普及しているLTE回線網で広範囲に使用可能
- ★ FOTA(Firmware Over-The-Air)により、ファームウェアのアップデート、測定間隔の変更、状態確認などが遠隔で実施可能です。
- ★ 内蔵電池のみで最大5年間稼働*する低消費電力
* 使用状況などによって異なります。

IoTカメラ

冠水センサ部と連動させてお使いいただけるカメラです。高解像度カメラにより、越水時の画像を昼夜問わず鮮明に撮影します。冠水センサ部付近にIoTカメラを設置することで、冠水(水没)した際の画像を撮影し、メールで送付し、現地の状況把握がスピーディーに可能です。



設置イメージ
冠水センサ部との連動により、スイッチが入った際に撮影します。



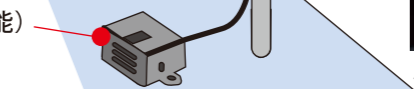
IoTカメラ撮影画像(夜間撮影) ※実際の画像です

冠水センサ部との連動のメリット

- ★ 冠水センサ部が水没したタイミングで現地画像を撮影しメールで送付
- ★ 通信部、電源が一体型のコンパクト設計
- ★ バッテリー+ソーラーでAC電源不要

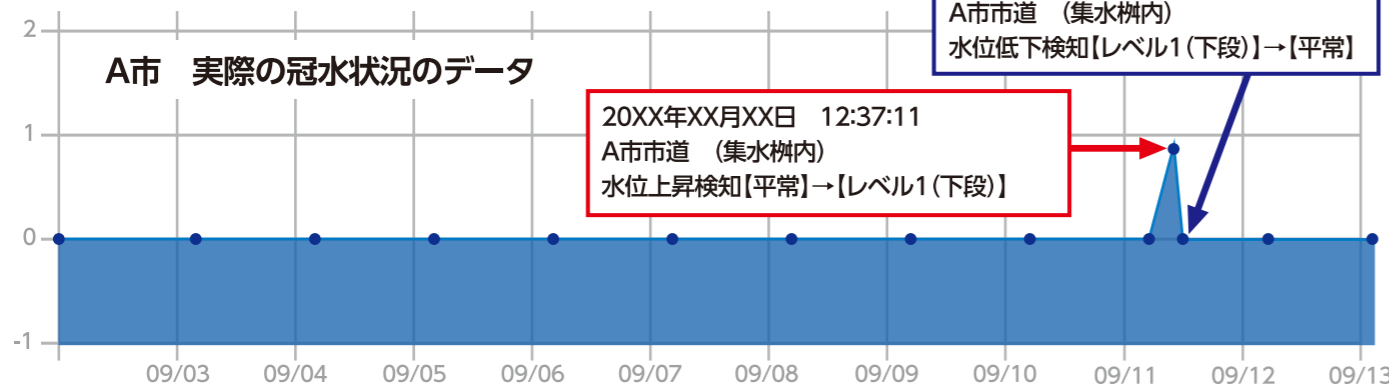
冠水センサ部(最大3台まで接続可能)

詳しい仕様や設置方法については裏面をご覧ください。



スマートフォン撮影画像

ハザードマッピングセンサ 冠すいっちのデータ例



短時間降雨33mmによりセンサが冠水、その10分後に水位の低下を検知。ピンポイントの状況がメールで確認できます。

車止め+IoT技術 冠水センサ ボラード (受注生産)

冠水センサボラードは、設置された水位に達すると管理者のメールアドレスに冠水情報を送信するとともに、LED 非常灯を赤く点滅させて周辺へ注意喚起を行います。確実に水位が下がった際には、管理者へメールで通知し、非常灯の点滅が止まります。冠水センサによる実測値のため、管理者による現地確認を待たず取るべき退避行動への移行が可能です、避難指示のリードタイムを短縮することができます。

詳しい仕様や設置方法についてはお問い合わせください。

